

ちょっと道徳

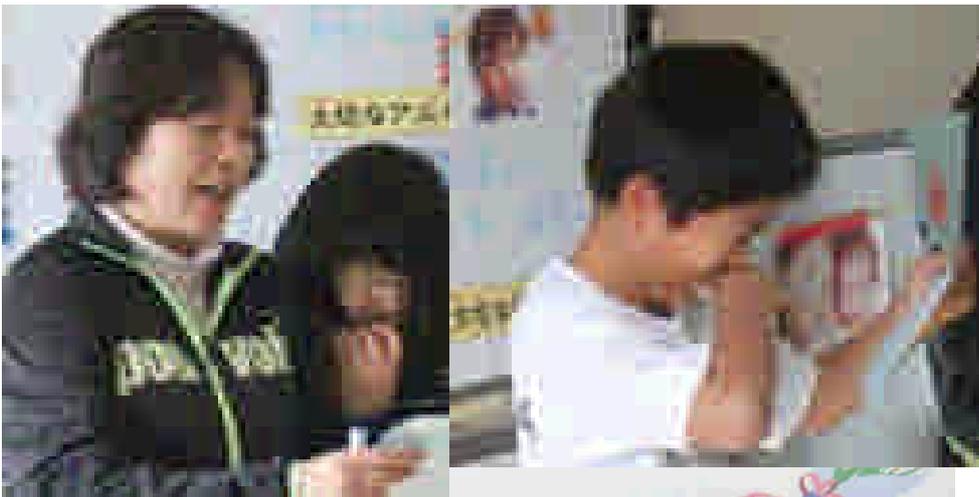
庭坂小学校
道徳便り

No.10

平成27年11月19日(木)

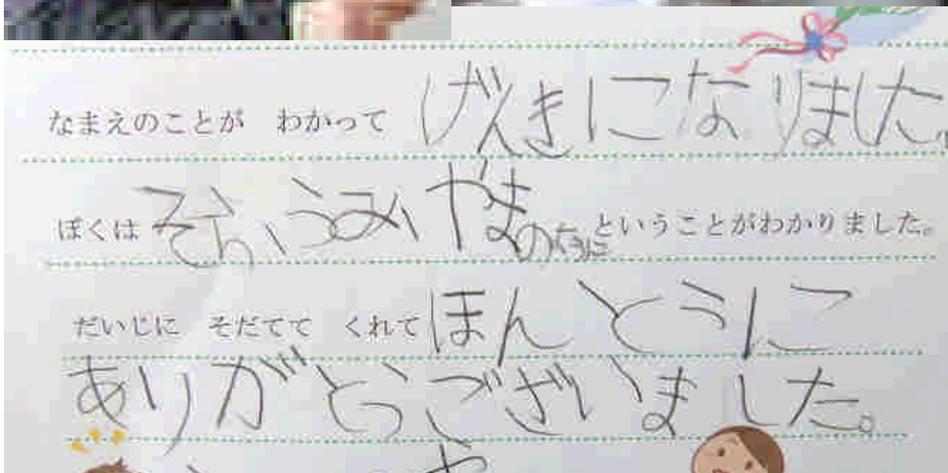
ちょっと紹介、 わかたけと4の1の授業！

11月15日(月)2校時わかたけ学級の日常生活の授業、17日(火)
5校時4年1組の道徳の授業をご紹介します。



- ・わかたけ学級
- ・指導者
小野由美子
- ・主題
「大切な自分」

←お家の方々からのお手紙を読んでいるところです。名前の意味や親の思い、赤ちゃんの頃の思い出などを知り、たくさん笑顔が教室にあふれていました。



←お家の方へ子供たちからお返事をかきました。みんな感謝の言葉をつづっていました。

まさに、家庭と学校で力を合わせた道徳教育でした。子供たちの本当に幸せそうな笑顔が、印象的でした。お家の方々からの手紙は、我が子への愛情が感じられるあたたかい言葉がたくさん詰まっており、聞いている私まで幸せのおすそわけをいただいたかのように感動的でした。ありがとうございました。

続いて、4年1組の授業です。

みなさん「自分で決めたことを守れなかったこと」は、ありませんか？

私は、あります。「ちょっとくらいいいよね！」「明日からやるから！」「めんどくさいなあ。」そんな心の弱い、甘い自分と日々闘っております。

資料の登場人物「よし子」は、自分で決めたことを途中で守れなくなり、夜更かしをして、学校で気分が悪くなってしまいました。「よし子」は、保健室のベッドで何を思ったのでしょうか。

先生が、臨場感を出すために、黒板の前で布団を広げると、「わああ！」と子供たちから歓声が上がりました。よし子になりきって、「ああ、夜更かししなければよかった。」「今度からきちんと決めたことをまもろう！」など、横になりながら、心の声を話していました。その演技を見る子供たちの表情もいきいきしていました。



- ・ 4年1組
- ・ 指導者
小野 敏幸
- ・ 主題
「自分をふりかえって」
- ・ 資料
「目覚まし時計」(東京書籍)

←よし子のつもりになって、横になり、役割演技しているところです。



実は、先生も気を付けていることがあるんです。何だと思う？先生は、学校から家に帰ったら、まっすぐ仕事をする机に向かうようにしています。

へえ。
先生も。



授業の最後は、先生自身が気を付けていることを話し、子供たちのやる気を引き出していました。